

おおいたAFF女性ネットワーク西部支部視察研修会 (平成28年1月14日)

生産から加工、そして何より活気ある女性の経営体を視察し学ぼうということで、福岡県の三潞(みずま)郡大木町にある、農事組合法人「モア・ハウス」を訪問し、大藪代表よりお話を伺いました。モア・ハウスは、ぶなしめじ・アスパラ・農産加工の3つの部門があります。4人の女性理事の下、馴れ合いにならないよう気をつけながら理事全員が納得して経営を進めていること、またガラス張りの経営を行うことなどの経営方針をお聞きしました。さらに、これまでの経過や生産状況を説明してもらいながら、限られた時間で細部まで視察させていただきました。経営の難しい点、取組内容、給与の算出方法など会員の興味を引く話が多く、質問が飛び交う活気あふれる研修となりました。

次に訪れた道の駅おおき「デリ&ビュッフェくるるん」は、モア・ハウス理事でもあり代表取締役の松藤さんが道の駅の駅長であることから、大木町はやる気のある女性が活躍している町との説明を受けました。参加者は、地元の食材が盛り沢山のビュッフェを堪能しつつ、小林店長から、これまでの経緯や経営概況、メニュー開発などについて伺うことができました。また大木町は循環の町ということで、隣接する循環センターでは、レストラン(地域)で出た生ゴミを液肥にして地域の畑へ、その畑で採れた野菜をレストランで使ったり道の駅で販売しているというお話も伺いました。現在スタッフは女性だけで運営しており協力しあって活躍されているのが印象的でした。

最後に訪れた九州国立博物館では、普段なかなか見ることのできない美術品をゆっくりと鑑賞。道中バスの中では終始会員同士の情報交換や相談など会話が弾み、地域や年齢を超えた交流がされていました。



モア・ハウス
大藪代表より説明



キノコ栽培見学



「デリ&ビュッフェくるるん」小林店長からの説明



きのこのもぎ採り体験



九州国立博物館前で集合写真